

2023年度事業は各事業の一層の充実を計画している。
 今年度新たに「我が国から海外への留学生支援」事業を開始する。海外の大学や研究機関に留学する学生1名を選定し年額3百万円程度を支給する予定である。
 講演会については従前からの「食と健康」講演会に加え、トライアルを重ねてきたフードコミュニケーション講演会を財団の公益目的事業として開催する予定である。

1. 研究助成事業

2023年度は、2月8日開催の第17回研究助成事業選考委員会で候補者として選定された研究助成17件に対して1,600万円の助成を行う。

2023年度助成候補者は以下の者とする。

① 研究助成 17件

	氏名	機関名	研究テーマ
1	いまいずみ てっぺい 今泉 鉄平	岐阜大学応用生物科学部 助教	食品加工操作による農産物中 有用成分のバイオアベイラビリティ 制御の可能性
2	かとう えつこ 加藤 悦子	東洋大学 食環境科学部 食環 境科学科 教授	各種米粉のデンプン構造と物性解 明
3	さがやま ひろゆき 下山 寛之	筑波大学 体育系 助教	日常生活環境下の身体活動と食事 から得られる主要栄養素がメタボ リックフレキシビリティに与える 影響
4	たけうち ひかり 竹内 光	東北大学加齢医学研究所認知機 能発達寄附研究部門 准教授	食事中の栄養素の摂取量と認知症 リスクの発症リスクの関連
5	ふるさわ ゆきひろ 古澤 之裕	富山県立大学工学部医薬品工学 科 准教授	オーツ麦βグルカンによる腸内微 小環境の変動と炎症性腸疾患予防 への展開
6	まつしま りょう 松島 良	岡山大学 資源植物科学研究所 光環境適応研究グループ 准教授	新しい機能性オオムギの創出

7	みたに たかかず 三谷 壘一	信州大学 農学部 農学生命科学 科 生命機能科学コース 助教	高齢時に生じる筋肉内異所性脂肪 の蓄積を抑制する食品成分に關す る研究
8	やまぎき はなえ 山崎 英恵	龍谷大学農学部食品栄養学科 教授	クロスモーダル効果（感覚間相互 作用）による料理の風味変化とそ の応用利用に關する研究
9	よしだ ただし 好田 正	東京農工大学大学院農学研究 院 応用生命化学部門 教授	高温高圧水を用いた小麦アレルギー 予防用小麦粉の作出
10	かわい あやこ 河合 亜矢子	学習院大学 経済学部 経営学科 教授	加工食品流通の強靱で持続可能な サプライチェーン構築に向けたロ ードマップの策定 ～日本とヨーロッパの比較調査研 究～
11	ごとう やすお 後藤 康雄	成城大学社会イノベーション学 部 教授	中小食品関連事業者における環境 負荷軽減の可能性と支援に關する 調査研究－フードロス削減を中心 に
12	きしもと あつお 岸本 充生	大阪大学 社会技術共創研究センター センター長	「リスクに基づくアプローチ (Risk based approach)」の分野 間比較
13	ささき つとむ 佐々木 努	京都大学大学院農学研究科 食品生物学専攻栄養化学分野 教授	生活習慣病の撲滅に向けた食行動 と栄養研究
14	しらとり さきこ 白鳥 佐紀子	国際農林水産業研究センター 情報広報室 主任研究員	世界の栄養・食糧安全保障と食料 需給における課題（人々の健康と 地球の持続可能性に貢献できるフ ードシステム構築に向けて）
15	せきや なおや 関谷 直也	東京大学大学院情報学環総合防 災情報センター 准教授	東京電力福島第一原子力発電所事 故の社会的影響（農林水産物の風 評被害や災害時の社会心理学的側 面に焦点を当てた実証研究
16	つつみ のぶひろ 堤 伸浩	東京大学大学院 農学生命科学 研究科 研究科長・教授	持続可能な食料システムの実現を 目指す農学教育研究システムの再 構築

17	<u>みうら</u> 三浦 <u>ひろき</u> 浩喜	国立大学法人福島大学 学長	農学の特色ある教育研究による福島の復興と食農人材の養成
----	-----------------------------------	---------------	-----------------------------

2. 講演会

第31回「食と健康」講演会を9月12日（火）午後 クラブ関東で開催。
講演会内容は講演1題と研究成果発表1～2名とする。
また、フードコミュニケーション講演会を2回開催する。

3. 海外からの留学生支援事業

2023年度の留学生支援事業は、昨年11月2日開催の企画委員会において適正性に問題ないとの答申を得た10名のうち以下の7名にそれぞれ奨学金100万円を支給する。

- ① バハリ ミナさん、女性、出身国：米国
東京大学大学院 理学系研究科生物化学専攻 修士1年在籍
- ② グエン トウオン ティ ホアイさん、女性、出身国：ベトナム
東京農業大学 生命科学部バイオサイエンス学科 4年在籍
本年4月同大学院 生命科学研究科バイオサイエンス専攻 修士進学(合格済)
- ③ エルデネー ビンデリアさん、女性、出身国：モンゴル
お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 比較社会文化学専攻
博士3年在籍
- ④ スペイン ドリュー ライリーさん、男性、出身国：米国
筑波大学大学院 人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群博士3年在籍
なお来年度は在籍4年目となる。
- ⑤ ソウ カンイさん、男性、出身国：台湾
東京工業大学大学院 情報理工学院情報工学系知能情報コース修士1年在籍
- ⑥ ラインハト セリンビビアンさん、女性、出身国：ドイツ
横浜国立大学都市科学部3年在籍

- ⑦ ガウイター スパトライウォーラポンさん、女性、出身国：タイ
上智大学言語教育研究センター留学予定

4. 我が国から海外への留学生支援

2023年秋学期からの留学生1名に3百万円程度の奨学金を支給する予定。